



植物学

【INDEX】

木山 加奈子	植物学・森林科学(・ 森林環境教育・林政 学)	自然の博物館 環境担当
須田 大樹	森林生態学 植物社会学	自然の博物館 自然担当

木山 加奈子	植物学・森林教育	<p>① 経歴・職歴 平成26年度から平成29年度まで埼玉県立自然の博物館自然担当、平成30年度から令和元年度まで教育局文化資源課指定文化財担当。令和2年度から埼玉県立自然の博物館環境担当(川の博物館駐在)。</p>
きやま かなこ		<p>② 過去の業務実績 H26 企画展「お蔵出し新収集品展」、H27 企画展「花粉が教えてくれること」、H28 特別展「現代有用植物展～くらしと植物のステキな関係～」、H29 企画展「埼玉生きもの情報～最新レッドデータブックの世界～」、「縄文有用植物展～クリ植えマメ播きウルシを掻いた！？～」(すべて自然の博物館)</p>
	<p>県内の植物・地衣類の分布・生育状況、博物館における市民活動の社会教育学的意義</p>	<p>③ 研究業績 H27 木山加奈子「埼玉県新産のクゲヌマラン <i>Cephalanthera longifolia</i> について」埼玉県立自然の博物館研究報告第10号、H29 木山加奈子・須田大樹・半田宏伸「埼玉県におけるタンポヤンマタケ <i>Ophiocordiceps odonata</i> の初記録」埼玉県立自然の博物館研究報告第12号、H30 木山加奈子・土屋俊幸「博物館の資料整理ボランティアの教育効果—首都圏の自然系博物館3館における植物標本整理ボランティアの事例から」博物館学雑誌第44巻1号 など</p> <p>④ 今年度の取り組み・抱負・メッセージ 地衣類、菌類、コケ植物を中心に、植物全般を扱っており、特に生存戦略や人との関わりが面白いと思っています。また、博物館ならではの学びや、自然史系博物館が地域の生物多様性保全に果たす役割にも興味があり、特にボランティア活動を森林教育や社会教育に近い視点で研究しています。県庁では主に天然記念物などの自然にかかわる文化財の保護に関わっていました。今年度から現場に戻ってきたので、これまでの経験を活かしながら、積極的にフィールドに出て活動していきたいです。</p> <p>⑤ その他 趣味は旅行や博物館めぐり、山歩き、植物などあまり動かない生きものの写真撮影です。イラストを描くのが少し得意です。</p>

須田 大樹	植物生態学 植物社会学	① 経歴・職歴 自然の博物館・生涯学習文化財課を経て、自然の博物館学芸員
すだ だいき		② 過去の業務実績 企画展：H20 きのことノート、H22 カエデ&もみじ、H29 縄文有用植物展 報告書：H22 天然記念物(植物)緊急現状調査、H30 石灰岩地基礎調査、 R1 天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」保存活用計画 その他：H21～ 環境省自然環境保全基礎調査(植生図作成)関東ブロック委員
	植物の生きる工夫、生きものどうし の関係、人の暮らしと植物・植生との 関わりなどに興味 があります。	③ 研究業績等 フモトミズナラに関する研究(形態、種子生産・散布特性、林分構造、種組成等) 県内の植生・維管束植物に関する研究(H23埼玉県レッドデータブック植物編分担執筆、H29ナラガシワ、 H30リュウキュウマメガキ、R1日高市シダ目録、R1埼玉植物検索ハンドブック改訂版分担執筆など) H23地域の自然史系博物館が生物多様性保全に果たす役割(自然の博物館研究報告) H25武蔵野台地の文化的景観(利根川文化研究)、H30地域の植生を見つめ伝える博物館(植生情報) ④ メッセージ 県の学芸員として埼玉の植物・植生の姿を解明していくとともに、展示や観察会、天然記念物の指定などを 通じて、自然の奥深さ・おもしろさを多くの人に伝えていきたいです。 ⑤ その他 樹木医、自然観察指導員。趣味：吹奏楽(クラリネット)、自然・歴史をめぐる旅(特に島旅が好きです)